

平成28年第4回西之表市議会定例会

所信表明並びに提案理由説明



おはようございます。

本日、平成二十八年第四回西之表市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位にはご出席をいただきまして、まことにありがとうございます。

今年の秋は、長く暖かい日が続いておりましたが、今月中旬ころから急激に寒さが到来し、慌てて冬物の衣類等を引っ張り出した感があります。

昨今の気象の変動にみられるように大変不規則な自然現象が多くなっており、四月の熊本地震や8月の台風10号の大雨被害など、今年も日本列島では、災害の続いた年だったという印象がございます。改めて、防災対策の必要性を感じた1年でございます。

それでは、議案説明に先立ちまして、地域の状況や事業の状況、市政を取り巻く課題について触れたいと思います。

まずは主な行事などを報告したいと思います。

今年も文化・体育関係の行事について市民の皆様の多くの参加をいただきました。

11月5、6日には、市民会館を中心に第45回市民文化祭が開催され、数多くの団体が日頃の活動成果を発表していただきました。また、各校区では、願成就をはじめ様々な行事がにぎやかに執り行われております。

体育関係では、第54回市民体育祭は、連日の雨によりグラウンドコンディション等が悪く残念ながら中止となりましたが、11月5、6日には、第70回県民体育大会サッカー競技が、西之表市で開催され、県内から選手、役員併せて約250名が来島して白熱した試合を繰り広げました。熊毛地区の代表としては、西之表チームが出場し、予選リーグを勝ち上がり、決勝では残念ながら鹿児島地区には敗れましたが、堂々の準優勝を獲得しています。市民の方々、とくに子ども達には、夢と勇気を与えてくれました。

また、11月20日には、恒例の市内一周駅伝競走大会が、市役所ゴールの新コースで開催することができました。

市民の健康づくりとしては、今年度、あっぱ〜らんどにウォーキングの案内板を設置し、第1回ウォーキング大会を実施しました。

好評につき12月11日（日）に第2回大会を開催します。たくさんの方のご参加をお願いしたいと思います。

今後とも、市民の皆様の健康増進のため、スポーツに親しむ環境を整えながら施策を推進してまいりたいと思います。

続いて、うれしい報告をさせていただきます。

10月26日、東京都内で第4回プラチナ大賞最終審査発表会があり、本市を含む種子島1市2町が優秀賞を受賞しました。全国の先進的なモデルとして高く評価されたものであり、今後も産学公で連携しながら、さらに推進してまいります。

観光面では、10月18日から20日にかけて民泊を伴った教育旅行の受け入れを行いました。今回来島したのは、広島市立舟入高等学校316人の生徒で、12月には更に新潟県立燕中等教育学校、約80人が来島予定となっており、引き続き教育旅行の誘致にも力を入れながら、交流人口の増加を図っていきたいと考えています。

また、11月14日から11月20日にかけて、第6回目となる

「くろしおの芸術祭」が開催され、西之表港から商店街にかけて、種子島をテーマにしたカラフルなアートベンチや子供たちと共同のおさかなアートなど作成され、まち並みに新たな魅力が加えられました。

文化振興の面ですが、先般購入いたしました上妻家住宅がこのほど国の指定文化財としての内定をいただいています。今後、文化財としての整備を年次的に整えていくとともに、まち歩き等の観光資源としても活用してまいりたいと考えています。

地域振興についてであります。

今年度は、地域おこし協力隊の全校区配置を計画しておりましたが、11月中に全校区の配置が完了し、記者公表を行ったところです。今後の各隊員の活躍に期待したいと思っております。

次に本市の基幹産業である一次産業の状況についてです。

農業においては、これから収穫を迎える基幹作物のさとうきびは、恵まれた気象条件の中、昨年度のさとうきび基金事業等により、

10アール当たり収量6トン733キログラム 生産量4万3千967トンが見込まれ、製糖工場においては、12月5日から明けて4月19日までの搬入計画です。

また、8月末から収穫が始まりました安納いも、10月12日から収穫が本格化したでん粉原料用さつまいもについても、さとうきび同様に、収量は昨年比べて多収が予想されています。

畜産につきましては、依然として好調な取引となっております。

また、第65回鹿児島県畜産共進会においては、3頭出品中2頭が最優秀賞を受賞し、2016年度県ホルスタイン共進会においても、1頭が最優秀賞入賞を果たし、本市畜産のレベルの高さが認められました。

また、労働力が不足している農家に対して、労働力の提供のために設立した援農隊は、5名を雇用して10月から稼働しており、12月から1名追加し、6名でさつまいもの収穫やバレイショの植付等の作業に従事しています。

有害鳥獣のシカについては、被害防止柵の整備や捕獲を強化した結果、10月末現在のシカの捕獲数は1609頭に達し、昨年と同時期に比べ293頭上回っています。引き続き被害防止と捕獲の2つを両輪に対策の強化を図り、農作物被害の減少に努めてまいります。

次に、水産業についてです。

トコブシの種子島漁協における水揚げ量は4,004kg前年対比114.2%水揚げ額2千219万4千円余りで同じく111.7%となり量・金額とも前年を上回っておりますが、これは、馬毛島での豊漁によるもので、一方種子島では不漁となっており、種子島での不漁の原因の検討を進めてまいります。

以上、主な一次産業の状況などについて述べましたが、今後も天候が順調に経過し、無事に実り多き収穫が迎えられるように、関係機関・団体と連携しながら適切な対応に努めるとともに、国の29年度予算等を注視しながら農林水産業振興を図りたいと考えます。

次に、今回予算計上いたしました中央拠点施設整備事業についてですが、昨年12月議会において、予算修正という形になりましたが、中心拠点施設は、本市の産業振興、人口減少への対応としての交流人口の増加、まちなかの賑わいづくり等のためには、どうしても必要だと考えております。

今回再び、商工会・商店街・市観光協会からも「是非に」と強い要請を受けたところであり、町に大きな気運が生じております。地区の校区長さん方も理解をいただいている中で、地方創生、有人国境離島等の追い風の施策が打ち出されており、また財源も今回までは、過疎債の地方創生特別枠が確保されている状況を総合的に勘案して、再度提出させていただきました。

全てが完全なものができるとは思っておりません。これから多くの皆さんにもお知恵をいただきながら、より良い形で具現化できればと思っております。ご理解のほどよろしく申し上げます。

馬毛島問題にも触れたいと思います。

先に国と馬毛島所有者との間で、買収についての最終調整に入っ

たとの報道がなされ、国は鑑定評価の入札公告を行っています。

米軍基地等馬毛島移設問題対策協議会としては、現在臨時会議のための日程調整を行っており、早急に対応策を協議してまいりたいと考えています。

さて年が明ければ、私は市長としての三期目の任期満了を迎えます。今議会が皆様と市政について論議する最後の機会となりました。

これまで12年間色々な事業や施策を実施してきました。また現在進行中のものもあります。そしてこれから取り組まなければならない課題もございます。今回選出される新しい市長のもと課題解決の取り組みを進めていただくことをお願いいたします。

最後に、就任以来、様々な困難に立ち向かうとき、私を励まして下さった市民の皆さんや市議会の皆さん、政策にご理解・ご協力をいただいた各関係機関や地域の皆様方、そして共に汗を流してきた職員の皆さん、全てみなさんに御礼を申し上げたいと思います。大変充実した12年でした。ありがとうございました。それでは、本定例会に提案いたしました議案について御説明をいた

します。

本定例議会に提案いたしました議案は、西之表市税条例の一部を改正する条例の制定についてなど条例改正議案 5 件、条例制定議案 1 件、西之表市一般会計補正予算（第 3 号）など予算関係議案 6 件の合計 11 件であります。

議案につきまして御説明いたします。

議案第 57 号及び 58 号は、税条例の改正議案、59 号は厚生労働省省令の改正に伴う条例改正、議案第 60 号は、文部科学省の通知に基づき、旧中学校を民間事業者へ有償貸与するにつき、市が設置する学校教育施設の整備に要する経費に充てることを目的とした基金の設置条例を制定しようとするものです。

議案 61 号は、公職選挙法施行令の一部が改正されたことによる条例の改正議案、62 号は改正農業委員会法の施行に伴う条例改正であります。

議案第 63 号から第 67 号は、平成 28 年度西之表市一般会計及び特別会計並びに水道事業会計の補正予算であります。

議案第63号は、平成28年度西之表市一般会計補正予算（第3号）であります。歳入歳出予算の総額に三億九千八百十三万四千円を追加し、予算総額を百七億五千八十一万二千円とするものです。本予算の主なものについて御説明いたします。

まず、関係機関とも連携した運営を行い、まちづくりの一環として整備する中央拠点施設整備事業三億百五十七万四千円を計上いたしております。

次に民生費の障害者福祉費の扶助費及び児童福祉費の子ども医療費助成並びに生活保護費等が、対象者や対象医療等の増に伴いまして、九千四百十六万円を計上いたしております。

また、農林水産業費でシカの適正個体処理や個体数調査に六百七十一万一千円、このうち個体数調査分の経費については、JAからの寄附によるものです。また、取り扱い農地の増に伴い、機構集積協力金を二千二百三十四万円計上いたしております。

議員各位の御審議をお願い申し上げまして、所信表明及び提案理由の説明といたします。

ありがとうございました。

平成28年11月30日

西之表市長 長野 力